

平成29年度千種区区民の集い開催状況

開催日時	場所	出席者
平成29年11月3日(金・祝) 午前10時00分～午前11時30分	千種区役所講堂	25人

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
■ あじさいプラン2017に関する意見		
● 重点推進施策1 地域で支えあうまちづくり		
○ 大規模地震への備え		
1	<p>・名大附属高校は千種区に住んでいない生徒が多い。そういう生徒らが千種区の中でどう活動できるか考えた時に1つ大きなものは防災。学校で災害に遭った時には避難所となる学校に滞在し、避難所を転々として帰る。そんな時にいろいろな活動ができるのは高校生。丈夫でいろいろ物を運んだり、活動したりすることができる。この前防災訓練をやったが、高校生は逃げるだけで終わってしまう。自分達が災害があった時にどう立ちまわっていくかのノウハウが身に付いていないので、例えば防災リーダー講習会が機能するのであれば、そこに高校生が絡める機会があると千種区のためにも全体のためにもなると思う。</p>	<p>・防災リーダー講習会は、学区・地域で災害時に中心的な役割を担っていただく方を育成するための講習会です。 中高生などの若者については、災害時には体力・行動力等の面で活躍が期待される場所です。たとえば、過去の被災地では、被災者としての立場にとどまらず指定避難所の運営に参加した中高生が、大きな力になりました。 まずは自分の命を守る方法を身につけていただき、さらに避難所等で地域のためにどのような行動がとれるかを学んでいただくことが望まれます。 防災・減災についての講習・訓練や、たとえばHUG(避難所運営ゲーム)で避難所運営のシミュレーションを行うなど、まずは高校で防災・減災の取り組みを協働で行えるよう検討してまいります。</p>
2	<p>・防災の問題は非常に重要だと思うが、私の町内会は自助・共助の部分の防災に対する準備は全くゼロの状態である。住民が防災に関してほとんど関心がない。市民が防災の自助・共助の部分どれくらいやっているか、一度調査してどの程度やっているか把握していただきたい。</p>	<p>・自助について消防局が調査しており、食料の備蓄に関しては60%の家庭が準備されています。また、家具の固定は50%強の家庭がなされているという結果が出ています。共助に関しては、昨年は防災訓練を11学区で実施しています。町内会単位だとだいたい年間約30町内会が実施している状況です。</p>
3	<p>・区政協力委員が兼務している災害対策委員とは別に消防署が主導でやっている自主防災会というものがある。町内会長が自主防災会の会長をやっているが、その2つがバラバラに動いているような気がする。いざ災害が起きた時、それぞれに割り振られた仕事はほぼ同じだが、災害対策委員は区長、自主防災会は消防署と流れが2つに分かれていて混乱するし、分かりにくい。上手く統一する方法はないのか。</p>	<p>・1人の方が2系統になっているということについて、区役所と消防署の連携が十分ではないところがあるという指摘だと思います。具体的にどんなところが上手くいっていないかお聞きして、それに対して対応していきたいと考えています。</p>

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
■あじさいプラン2017に関する意見		
●重点推進施策1 地域で支えあうまちづくり		
4	<p>・区政協力委員は災害対策委員を兼務しているが、区政協力委員は高齢者ばかりなので、災害対策委員は別にしないと意味が無いと思う。</p>	<p>・災害対策委員を元に町内単位で実際に動いていただける方にどのような役割をもつていただくかなど地域の実情に応じて検討いただきたいと考えています。</p>
5	<p>・あじさいプランでは防災の比重が高く、大学も避難所になるので、大学・高校の役割がプランに入っていると良い。</p>	<p>・現状では区内で避難所に指定された大学はありませんが、避難所に指定された高校では、施設管理者として避難所運営の支援という役割をお願いしているところ です。 あじさいプランは当年度の取り組みをお示しするものですので、施設管理者の具体的な役割について記載することは割愛させていただきますが、該当マニュアル等で啓発をはかります。</p>
○防災訓練		
6	<p>・防災では高校生とのつながりが無いに等しいと感じたので、高校で防災訓練を行うべきだと思う。</p>	<p>・菊里高校をはじめ、区内では複数の高校を指定避難所とさせていただいております。 高校で防災訓練をはじめとした防災・減災の取り組みを実施するための高校・学区・区役所・消防署等の協働について、検討してまいります。</p>
○防災リーダーの育成		
7	<p>・防災教室を町内に強くPRしてほしい。学区まではなかなか行けない。町内単位で行えば集まると思う。学区の組織が期待できるのは大災害時だが、43町内あるから期待できない。早急に対策してほしい。</p>	<p>・災害時の初動態勢強化のため自主防災組織(町内会、自治会)が行う実践型防災訓練の実施支援に取り組んでいるところであり、リーダーの役割も説明しております。この取り組みについて、各種講習・訓練の機会をとらえ、さらに周知していきます。</p>
○交通安全啓発活動の推進		
8	<p>・最近自転車にイヤホンをつけながら乗っている若い人多い。交通安全について学生や若い世代の意識を高めていく必要がある。</p>	<p>・交通安全キャンペーンなどを通じて、自転車運転中の交通ルール・マナーの遵守について、子どもや高齢者だけでなく幅広い世代に啓発していきます。</p>

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
<p>■あじさいプラン2017に関する意見</p>		
<p>○地域コミュニティの活性化</p>		
9	<p>・自治会役員のやり手がいないので、学区の仕事はもっとスリム化してほしい。役所からの回覧板は「広報なごや」に掲載すれば、仕事を減らせるのではないかと。また、学区の仕事を有償ボランティアにすると良いのではないかと。</p>	<p>・自治会役員の担い手不足については、区役所としても認識しております。そんな中、学区を通じ自治会へご依頼させて頂く、広報物・行事等への協力など、内容も多岐に渡っているのが現状です。地域の負担を抑制すべく、内容の精査に努めていますが、事柄の重要性や地域のご助力無しには成し得ない事柄などもあり、大きな改善には至っていません。頂きましたご意見を踏まえ、今後更に、負担抑制へ向け厳正に内容を精査してまいります。</p>
10	<p>・成人式は老人が若者の世話をするのは本末転倒。成人する若者に全て立案実行してもらえば良いし、東区のように一同に集めて開催すれば良い。</p>	<p>・成人の日記念行事は、新成人が健やかに成長したことを祝い、その前途を励ますものとして、千種区では各学区において開催していただいております。学区ごとに特色ある行事や恩師との懇談会などを行っていただいておりますことに感謝申し上げます。一会場での開催には会場の確保などの課題もあり、学区単位での開催にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。</p>
<p>○高齢者の見守り活動支援</p>		
11	<p>・3年くらい前に市営住宅に重症の人が住んでいて、買い物もできないから保健所の方に来ていただけないかと電話したが、来てくれなくて餓死された。こういうことがあっていいのかわ。住民としては何ともならない。情報だけは流すが、役所としてどうしていただけるのか聞きたい。また、こういうことは突然起きる。その時に行政はどのように対応してくれるかというのが住民の期待である。見に来るだけでも来ていただきたい。</p>	<p>・区役所では65歳以上のひとり暮らし世帯、75歳以上の高齢者のみ世帯につきましては、高齢者実態把握調査や、調査の結果に基づく民生委員や高齢者福祉相談員による訪問活動を行うことで、援助が必要な世帯の実態把握に努めております。また、孤立が心配される方に、いきいき支援センターから見守り支援員が個別に訪問し、相談に応じて、必要なサービスへつなげています。なお、住民の方から情報をいただいた場合には、区役所や、いきいき支援センターなど関係機関が連携をとりながら、状況に応じて、対応していきたいと考えています。</p>
12	<p>・孤独死という問題があげられたが、安心カードが1枚あれば今の問題が半分くらいは解消できる。PRをどんどんしてほしい。</p>	<p>・「あんしんカード」は、あらかじめ登録いただくと、万一事故などにあわれ、救急車で病院に搬送された際に、ご自分でご家族等に連絡できない場合に、消防職員が連絡するものになります。対象者は、65歳以上で身体に障害のある方、70歳以上でひとり暮らしの方となります。引き続き、制度のPRに努めてまいります。</p>

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
<p>■あじさいプラン2017に関する意見</p>		
<p>13</p>	<p>・安心カードに関心のある人達は大丈夫だ。餓死した人は全く介護制度に関わっていない。そういう人達に手がいていなかった。それと病気が重度になると生活保護を受けていたがお金も取りに行っていない。そういう人達に対して、これからどうしていくか。</p>	<p>・区役所では65歳以上のひとり暮らし世帯、75歳以上の高齢者のみ世帯につきましては、高齢者実態把握調査や、調査の結果に基づく民生委員や高齢者福祉相談員による訪問活動を行うことで、援助が必要な世帯の実態把握に努めております。また、孤立が心配される方に、いきいき支援センターから見守り支援員が個別に訪問し、相談に応じて、必要なサービスへつなげています。</p>
<p>○エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)</p>		
<p>14</p>	<p>・区民ブロック会議で、エンゼル訪問の際に留守だと何度も訪ねる必要があるので電話番号を教えてほしいという意見が出され、保険予防課で把握されているものは取得目的が保健所で使う目的しか取得していないので、教えることができないということだったが、取得の段階で工夫すれば情報をうまく共有できるのではないかと話題にあがり、調整していきますと言われていた。3ヶ月経ってどのように動いているか知らせていただきたい。</p>	
<p>15</p>	<p>・エンゼル訪問に必要な電話番号を民生子ども課で集めるとのことだが、保健予防課が取得する時に同意をとれば個人情報保護の観点からも出せるはずだがその辺をどのように検討されているのか。</p>	<p>・エンゼル訪問において電話番号が必要な場合、千種区としては、民生委員・児童委員の皆さまの負担軽減のため、本人の同意を得て個別に電話番号を情報提供させていただきます。</p>
<p>16</p>	<p>・エンゼル訪問に係る電話番号の取得について考え方を改めて欲しい。地域で活動している者に対して仲間とする意識もなく上手くやっていけるのか。今の説明だと設立した時の主旨だけ説明して理由の説明に変えている。実態を何とかしてくれという話に何故シフトしないのか。民生委員や保健委員も皆さんから委託された仲間。そのように考え方を改めていただくと地域力がもう少し増してくるのではないかと思う。</p>	

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
<p>■あじさいプラン2017に関する意見</p>		
<p>○ふれあい思春期セミナー</p>		
	<p>17 ・思春期セミナーは保健予防課と小学校が主体となってやっているにもかかわらず、実際に参加される親子を集めるのは民生委員に振られるが、住所しか教えてもらえていない。民生委員は協力の形で参加しているにも関わらず、面倒くさい書類だけ押しつけられて、実際行政が持っているにも関わらず、電話番号を渡してもらえない現状がある。その情報の出し方について伺いたい。</p>	<p> ・ふれあい思春期セミナーに参加してもらった乳幼児をお持ちの保護者の確保については、子育てサロン等親と子の集いの場において、民生・児童委員の皆さまと協力してチラシの配布と参加呼びかけを行っています。 これからもより充実した事業となるよう民生・児童委員の皆さまと共に相談しながら、協力し合い、参加者確保に努めて参ります。</p>
<p>●重点推進施策2 千種区の魅力を活かしたまちづくり</p>		
<p>○空家の適切な管理の促進</p>		
	<p>18 ・空家の適切な管理の促進について、名古屋市条例では長屋の場合、ボロボロの建物でも1室居住者がいれば対応できない。管理不徹底な借家の大家に対してもっと積極的に踏み込めないか。</p>	<p> ・一部住んでいる長屋については条例の適用はないが、状況を見て著しく悪影響を及ぼしているようなものについては、それぞれ個別に状況の把握をしており、個別の事例については個別にそれぞれ判断していきます。</p>
<p>○ペットの飼い主マナーの向上</p>		
	<p>19 ・千種わんだフルサポーターがどういう活動をされているのか教えていただきたい。犬の散歩をする際に処理するバックを持っておられるが、それは見せかけという方が多いように思う。ペットボトルの水でおしっこ後処理をされているのを見かけていいことだと思ったが、そんな人はわずかだ。</p>	<p> ・保健所の窓口等で、愛犬のフンの持ち帰り、散歩中リードでつなぐ、法令で定められた手続きを順守するという、お散歩マナー宣言をしていただいた方を「千種わんだフルサポーター」として、宣言内容を実行してきれいなまちづくりにご協力いただくという趣旨で行っています。 ・本市では、散歩中に排せつさせないしつけを一步進んだ散歩の仕方として啓発しています。散歩中にフンや尿をさせないことは飼い主にとってもメリットがあると思いますが、なかなか浸透していないのが現状です。また、散歩にペットボトルや霧吹き等を持って行き、万が一排尿をした時に、それで流して下さいということも啓発しています。今後も様々な機会を通じて、犬の飼い主にマナーの向上を呼びかけていきたいと考えています。</p>

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
■あじさいプラン2017に関する意見		
○その他清掃関連(道路・街路樹等)		
20	<p>・まちが汚い。ガードレールの下草がほとんど取られていない。自由ヶ丘三丁目の交差点のところはなるべくきれいにしようと思って何年か前から掃除している。きれいに生活したいのでなるべく人をなんとか動かす方法を考えていただけると一番よい。行政がやるには限界がある。掃除は年2回やっていただいても何ともならない。きれいにするためには地域の力がものすごく必要だとすごく感じている。</p>	<p>・千種区役所でも地域の皆様と一緒に街をきれいにするクリーンキャンペーンを年に1度行っていますが、ご指摘のとおり一過性のもかもしれません。街を皆できれいにしていこうという気持ちを持っていただき、地域の皆さんが美化に一過性なく取り組んでいけるよう、機運の醸成を進めてまいります。</p> <p>・土木事務所として予算が非常に厳しくなっている中、以前は年2～3回の清掃ができていましたが、現在1～2回程度です。道路、街路樹の愛護会や公園の愛護会をつくっていただくと月1回等の清掃をお願いしていますが、その中で報償金という形でお茶代くらいがでるような形になっています。ただし、昨今、高齢化が進んでいることもあり、毎年いくつかの愛護会が体力的にきついので解散したいという話もあります。そういうところは行政で対応していくしかないと考えていますが、皆さんで使っていただく公園や道路は皆さんにご協力いただけると助かります。</p>
21	<p>・街が汚いというご意見があったが、街路樹の樹木の剪定も草刈りも回数が減ってきた。実際の予算がどの程度減っているのか知りたい。</p>	<p>・緑政土木局の予算として、平成一ケタのピークから半分以下の状況です。除草・清掃についてはピーク時は年3回くらい実施していましたが、現在では公園は年3回、道路については年1回くらいの状況です。夜中に路面清掃車を使用しており、ピークの頃は多い時に週2回、毎週実施していましたが、今は交通量が多い路線でも隔週1回というところが多く回数が半分以下になっています。</p>
22	<p>・道路とか雑草とか街をきれいにしていくことは、高校でもできることが多いと思う。学校は去年開校したばかりで、まだまだ生徒会活動が活発ではないが、最寄駅から高校までの道に木がたくさんあって銀杏が落ちて臭いがすごかったりするが、高校からでも少し対応していけたらいいと活動して思った。</p>	<p>・行政の予算が減少する中、一人でも多くの方が都市美化に関心を持ってもらうことはきれいな街に繋がるきっかけになると考えます。</p> <p>ご指摘のような高校のボランティアにつきましても、既設の、街を美しくする推進委員や環境デーなごやのクリーンキャンペーン、愛護会などと共に、新たなボランティアの形として大きく貢献していただける、大変ありがたい活動であると考えます。</p> <p>なお、公共の場の清掃等で発生したごみについては、ボランティア袋を配布しておりますので是非皆様のご協力をお願いいたします。</p>

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

見出し	意見	区の考え方
<p>■あじさいプラン2017に関する意見</p>		
23	<p>・銀杏の木もあって銀杏が落ちていることもあるが、気になった後日には殆どきれいになっていた。掃除をしっかりしている行政の人達もみえたり、市民の人達もちゃんと掃除ができていると思うが、そうした差を無くしていくと千種区もきれいになると思った。</p>	<p>・地域におきましては、町を美しくする推進委員や愛護会の皆様に清掃などのご協力をいただいているところですが、さらに沿線の学校や会社などの皆様が街の美化に積極的に取り組んでいただけますと、他の市民の皆様の意識も高まり、さらにきれいな街になっていくと考えますので、ぜひご協力をお願いいたします。</p>
24	<p>・1年半ほど千種区に通い続けて勉学に励んでおり、第二の故郷と言っても過言ではない程の場所であるはずなのに、千種区民まつりに携わったから私たちは何かをしている気になっているが、他には全く何もしていないと思っている。例えば人手不足の愛護会や愛護会が無くなってしまったところに高校のボランティアチームを派遣して清掃できればいいと思う。</p>	<p>・愛護会につきましては、公園や街路樹の保全美化に大きく貢献していただいておりますが、担い手が減少しているという現実もございます。そのような中で若い方々にご協力をいただけることは、街の美化だけでなく愛護会活動にも大変刺激になると思います。是非、高校のボランティアにつきましてもご協力いただければと考えます。</p>
<p>●重点推進施策3 利用しやすい、信頼される区役所づくり</p>		
<p>○情報発信</p>		
25	<p>・催事など高校生にも参加できることもあるので、案内を細かく出してほしい。</p>	<p>・区の事業などについては広報なごややウェブサイト等を使って情報発信しており、今後も内容を充実していきたいと考えています。また、高校に参加していただく催事等があれば、ご案内していきたいと考えています。</p>

平成29年度千種区区民の集いにおける意見及び区の考え方

■千種区の目指すべき将来像についてのご意見

今後の区政運絵方針や区将来ビジョンの策定の参考とさせていただくとともに、必要に応じて関係部局にご意見を伝えさせていただきます。

見出し	意見
○将来像に関するイメージ	
1	<p>・眠っている人材を生かし、世代間交流が活発な街にする。大学を地域に開放された場所として活用するなどしたらいいと思います。高齢者が趣味や得意なことを若者たちに教え、逆に若者はいまの時代にしないことを発信できるようなイベントが実施できたら、孤独死の防止にもつながるのではないのでしょうか。一人ひとりが自分に役割があると実感出来れば、積極的に外に出てきてくれる市民が増えると思う。</p>
2	<p>・身近に高校生が参加、協力できる場があるとよいと思う。</p>
3	<p>・今日若い人達が来ているが、優等生的なイメージが強い。SNSを活用すればもっといろいろな意見が集約できるのではないか。5年先10年先は、ここにいる若い人達にとっては一番活気のある時代を迎えることになると思う。今から準備されないと追いつかないくらいに感じている。</p>
4	<p>・区民の多くが、どのようにして地域社会に貢献できるか、自発的に考えられる社会的環境を作り出していくことではないか。</p>
5	<p>・各学区ごとにあった将来像(例えば自由ヶ丘は子どもと高齢者が多いので、この方にあった将来像)を決めて進めていけばどうかと感じた。</p>
6	<p>・今回の集いのような場を積極的に企画して、意見を交換する場をつくっていくべき。</p>
7	<p>・自然を残していくことも良いと思う。</p>
8	<p>・地域全体で深い愛情を注ぎ、情緒豊かな人に育てる仕組みのある区。</p>
9	<p>・千種区の将来像として市民協働を進めていただきたい。行政では人員も少ないし予算の問題もあり限界があって地域の問題は地域で解決しなくてはならないのは当然だと思う。地域の力をうまく活用してやっていただきたいが、一方的に下ろされては困るというのが現場にある。頼んだから後は知らないという形が多いということを切に感じている。何故そうなるかという行政と市民が同じベクトル、方向性を見ていないところがある。どこまで努力してやるかという姿勢を見せることが市民を巻き込むことになる。押しつけられ感があると何故こんなことを押しつけられるんだという思いがある。できないことはできないでいい。でもできるかもしれないことはできるところまで努力していただきたい。</p>

○まちづくりの進め方	
10	・行政と地域に住んでいる人々とはどうしても差が生まれてしまう、考え方にズレがあるのは当然だと思うが、こういった集いの会でもっとフラットな関係になれるんじゃないかと思う。今年で2回目なのでまだ差があるかもしれないが集いが進んでいけば千種区の将来はもっと地域と行政がフラットな関係になればいいと思った。
11	・千種区の活動が特に若い学生などに広まっていない。学校に掲示させてもらったりとか活動をもっといろいろな人知ってもらおうなど広めていくともっとよりよいものになるのではないかと思う。
12	・千種区民まつりで愛知工業大学と名古屋商業高校が連携して、自由ヶ丘学区の店の紹介をさせていただいた。学生と区民が一緒になって連携していくイベントの機会が少ない。そういった機会を増やせていけたらコミュニケーションの幅が広がって良くなると思った。
13	・区と学生だけで意見交換する機会があれば良いと思う。
○その他	
14	・いろいろな地域の方の意見を聞いていたが、行政ばかりに頼るのではなく自分達が進んで活動していける区民になると千種区がより良くなっていくと思う。僕たちも行政になんでもかんでもお願いするのではなく、高校自ら地域をより良くするために動いていけると学校も良くなるし千種区も良くなると思った。
15	・目標を掲げるのは簡単でも行政の方達と協力して実現につなげていくのは厳しいと感じた。人と人が直接顔を合わせる機会を増やしていった方がいい。地域のためになりたいと思っている方がいたとしても、なかなか自分で動けないこともあるので、きっかけをつくるために私達学生が橋渡しというか間に入って行政の皆さんも動きやすいようサポートしていく役割が担えたらいいと思った。
16	・淑徳大学では10年前に自治会会長の働きかけで月1でずっと清掃してきた。今年はSMBC がエリアに来たので、SMBC と学生が月1で清掃活動をしている。私達の大学は地域の人に守られながらここにあるということを知ってもらったのでずっと続けてきた。千種区に連絡したのに20日放置されて餓死されたという方がみえたということを知り、自分ができることはなんだろうとずっと考えていた。大学で2月から高齢者の方を呼んで地域のカフェをやろうと思っているが、ここに来たことで大学は本当はもっとやらなければいけないことがたくさんあるんだと感じた
17	・昨年の区民の集いに参加したことがきっかけとなり星見草まつりというものが行われることになった。このような行事はいつもできることではないが、日頃からできることはもうちょっとあると思っている。少しずつ協力していけるといいかと思う。
18	・菊里高校は避難所に指定されているが、今回千種区80周年を記念して千種区と11/18に星ヶ丘テラスで開催する準備を通して地域との交流が本当に少ないのではないかと感じた。避難所に指定されているからではなく、地域にある高校としてもっと地域の方々との交流を増やしていきたいと感じた。

19	<p>・学生のみなさんが地域活動にいろいろ参画したいという気持ちはあるが、なかなか切り口が無いということに対して情報提供したい。各学区に地域ボランティアを推薦している地区福祉推進協議会というのがあり、そういうところに連絡するとボランティア活動、いろいろなニーズを把握されている。もしくは人と人が会って話をするとニーズが生まれることがある。まず人と人が会っているいろいろな話をしていただけたら次の活動につながると思う。</p>
20	<p>・愛知工業大学と名古屋商業高校と一緒に自由ヶ丘地域の地域協働活性化に取り組んでいるが、地域にお店が少ないと言われた。既存の店については売上を伸ばすとか新商品を開発したりしているが、新しい店をつくることはできない。コンビニ等が少ないので誘致してもらえればと思う。</p>
21	<p>・私は交通見守り隊をやっている。挨拶をかけても知らん顔していく子たちが一番最後の時に、おじさん6年間お世話になりましたと言いに来た時は本当に見守り隊をやっていてよかったと思えた。これからも温かく小学生を見守っていきたい。</p>
22	<p>・フン対策として私が実験的にやって成功した例を紹介したい。保健所にステッカーがあるが、これを掲示板に貼っても効果はない。犬がフンをした後に地面に置くということを続けるとフンはなくなった。</p>
23	<p>・いい話を1つ紹介したい。名電高校の学生が池下から学校まで大きな袋を持って、タバコの吸い殻とかを定期的に清掃している。地域住民がそれを見て一生懸命協力しないといけないというふう若い人達に教えられていると思う。</p>